

プログラム

9月16日 (土)

第1会場 (創立五十周年記念館 1F 金光ホール)

8:50~9:50

大会長講演

座長：北川 航平 (地方独立行政法人岡山県精神科医療センター)

「つながる精神医学・薬学」

梅田 賢太 (一般財団法人創精会松山記念病院診療部薬剤課)

10:40~12:10

シンポジウム2 (S2)

座長：三輪 高市 (鈴鹿医療科学大学 薬学部)

中村 友喜 (三重県立こころの医療センター 診療技術部薬剤室)

別所 千枝 (JA尾道総合病院 薬剤科)

「Bar Prova でDI活用入門～教授と一緒に聞き耳を～」

S2-1 探せる、活かせる、楽しくなる、臨床現場での実践的論文検索

桑原 秀徳 (医療法人せのがわ 瀬野川病院)

S2-2 添付文書、RMPの読み方・考え方

冨田 隆志 (広島大学病院薬剤部)

S2-3 組織力を上げることに必要な、情報共有方法の模索

葛葉 里奈 (特定医療法人社団慶愛会札幌花園病院 薬局)

12:30~13:30 ランチョンセミナー1

(共催：住友ファーマ株式会社)

座長：中村 友喜 (三重県立こころの医療センター)

「急性期統合失調症に対するロナセンテープの治療学的位置づけ：系統的レビューの結果より」

岸 太郎 (藤田医科大学医学部 精神神経科学講座)

17:00~18:00

教育講演1

座長：黒沢 雅広 (昭和大学薬学部病院薬剤学講座/昭和大学附属烏山病院 薬局)

「ストレスの生物学的基盤に迫る階層縦断的研究の最前線」

古屋敷 智之 (神戸大学大学院医学研究科)

12:30~13:30 ランチョンセミナー2

（共催：Meiji Seika ファルマ株式会社）

座長：渡邊 衡一郎（杏林大学 医学部 精神神経科学教室）

「統合失調症外来治療における SDM とシクレスト舌下錠服薬継続のコツ
～コンプライアンスからコンコーダンスへ～」

小野 晴久（医療法人 仁康会 港町クリニック）

15:10~16:40 ワークショップ1

座長：吉尾 隆（公益財団法人住吉偕成会 住吉病院／精神科薬物療法サポートセンター）

「PCP 研究会企画 より良い薬物治療を考えようー「症例検討」うつ病ー」

進行：柴田 木綿（八幡厚生病院 診療技術課 薬剤課）

演者：吉見 陽（名城大学 薬学部 病態解析学Ⅰ）

ファシリテーター：志田 雅彦（ときわ病院 薬局）

ファシリテーター：高橋 結花（東京女子医科大学病院 薬剤部）

ファシリテーター：中川 将人（加賀こころの病院 医療技術部）

ファシリテーター：宇野 準二（特定医療法人なるみ会第一なるみ病院 薬局）

ファシリテーター：宮原 佳希（七山病院 診療部 薬剤課）

17:00~18:30 ワークショップ2

座長：細川 智成（公益財団法人慈圭会慈圭病院）

「患者さんの話を「聴く」のために最も重要な技術とは…↓↓
動機づけ面接から学ぶ対人コミュニケーションの基本」

ファシリテーター：宮浦 淳一（医療法人 資生会 八事病院 薬局）

ファシリテーター：北川 航平（地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター）

ファシリテーター：細木 加寿子（医療法人精華園 海辺の杜ホスピタル）

ファシリテーター：高橋 結花（東京女子医科大学病院 薬剤部）

ファシリテーター：高橋 満里（平松記念病院）

8:50~10:20

シンポジウム 1 (S1)

座長：亀井 浩行（名城大学 薬学部病院薬学研究室）

野田 幸裕（名城大学 薬学部病態解析学 I）

「精神科薬物療法におけるポリファーマシーのマネジメント」

S1-1 精神科薬物療法におけるポリファーマシー：概要

野田 幸裕（名城大学薬学部 病態解析学 I）

S1-2 睡眠薬とポリファーマシー

井上 真一郎（新見公立大学 健康科学部 看護学科）

S1-3 うつ病治療におけるポリファーマシーを整理する

肥田 裕丈（名古屋大学医学部附属病院）

S1-4 統合失調症とポリファーマシー

亀井 浩行（名城大学薬学部 病院薬学研究室）

10:50~12:00

一般演題 1（口頭発表）「統合失調症」

座長：石動 郁子（札幌佐藤病院 薬剤科）

O-1-1 クロザピン由来の白血球減少に関するリスク因子の調査研究

佐藤 雅也（社会医療法人居仁会 総合心療センターひなが 診療技術部 薬剤課）

O-1-2 統合失調症患者の薬物療法に関する処方実態調査（2022年）その1
～外来患者の処方状況について～

加藤 剛（精神科臨床薬学研究会／医療法人社団幸悠会薬剤部）

O-1-3 低用量でのクロザピン再開により発熱を回避した症例

松村 俊希（埼玉医科大学病院 薬剤部）

O-1-4 統合失調症患者の薬物療法に関する処方実態調査（2022年）その2
～2022年度の処方調査の総括および入院患者における抗パーキンソン薬の処方傾向について～

鈴木 貴子（精神科臨床薬学（PCP）研究会／石郷岡病院）

O-1-5 埼玉医科大学病院におけるクロザピン使用患者への関わり方

須貝 昌平（埼玉医科大学病院 薬剤部）

O-1-6 統合失調症患者の薬物療法に関する処方実態調査（2022年）その3
～精神科救急急性期病棟入院患者における抗精神病薬の処方傾向について～

柴田 木綿（八幡厚生病院／精神科臨床薬学研究会）

0-1-7 統合失調症患者における薬物治療の患者負担調査

水野 博之（社会医療法人聖泉会 聖十字病院）

12:30~13:30 ランチョンセミナー 3

（共催：MSD 株式会社）

座長：新野 秀人（四国中央病院臨床研究センター・精神科）

「神経発達症を伴う成人睡眠障害患者の対応と治療」

河邊 憲太郎（愛媛大学大学院医学系研究科 児童精神医学講座）

13:50~14:50 一般演題2（口頭発表）「抗精神病薬・気分安定薬・睡眠薬」

座長：天正 雅美（さわ病院 薬剤部）

**0-2-1 抗精神病薬による性機能障害の併用薬を考慮した安全性シグナルの評価：
FDA Adverse Event Reporting System を用いたファーマコビジュランス研究**

横井 里奈（藤田医科大学医学部 薬物治療情報学講座）

0-2-2 抗精神病薬と白血球減少—当院における因果関係の検討—

辻本 千代美（医療法人福知会もみじヶ丘病院）

**0-2-3 パリペリドンパルミチン酸エステル持効性注射液（ゼプリオン® 水懸筋注）の再審査結果
についての報告**

山岸 史枝（ヤンセンファーマ株式会社）

0-2-4 医療ビッグデータ解析を基盤としたラモトリギン誘発皮膚障害のリスク因子解析

坂東 寛（徳島大学病院 薬剤部／徳島大学大学院医歯薬学研究部 臨床薬理学）

0-2-5 保険薬局における睡眠薬服用に関する患者の主観的評価について

清水 侑真（名城大学大学院薬学研究科・病院薬学研究室）

0-2-6 睡眠薬フォーミュラリ導入による処方動向と医薬品購入費の変化

水村 亮介（埼玉医科大学病院 薬剤部）

15:10~15:50 一般演題3（口頭発表）「疫学・調査」

座長：竹内 尚子（湘南医療大学 地域社会薬学）

**0-3-1 精神科領域におけるトレーシングレポート利活用の実態調査
～かかりつけ薬局との連携～**

加藤 剛（医療法人社団幸悠会 所沢慈光病院薬局／医療法人社団幸悠会 鈴木慈光病院薬局／医療法人社団幸悠会 逸見病院薬局）

0-3-2 本邦におけるベンゾジアゼピン系薬剤の長期使用に関するトレンド分析

百 賢二（昭和大学薬学部病院薬剤学講座／昭和大学統括薬剤部）

0-3-3 病院薬剤師による退院時薬剤情報提供の現状と課題

笠原 真理（小樽市立病院 薬剤部）

**0-3-4 (一社) 所沢市薬剤師会と所沢市の連携によるによる服薬適正化事業
～重複服薬の状況を中心に～**

加藤 剛 ((一社) 所沢市薬剤師会 / 所沢慈光病院 / 所沢市健康増進連携推進協議会)

16:00~16:40 一般演題4 (口頭発表)「臨床薬学・服薬指導」

座長：馬場 寛子 (長谷川病院 薬剤部)

0-4-1 精神科病院における服薬自己管理導入が患者に与える影響

公文 理紗子 (医療法人社団 更生会 草津病院 薬剤課)

0-4-2 統合失調症患者を対象とした心理教室への薬剤師介入に関する調査研究

衣笠 真澄 (林道倫精神科神経科病院)

0-4-3 「精神科版薬剤管理サマリー」の作成に関する医師アンケート調査

坂本 靖之 (独立行政法人国立病院機構 呉医療センター 薬剤部)

0-4-4 精神科における内服薬の剤形が患者の内服行動に与える影響

古屋 宏章 (昭和大学附属烏山病院)

17:00~18:00 一般演題5 (口頭発表)「その他」

座長：神村 英利 (福岡大学 薬学部)

**0-5-1 アルコール依存症またはアルコール使用障害患者における治療期間に応じたアルコール減
酒療法の有効性と安全性：システマティックレビュー／ネットワークメタ解析**

小武 和正 (岡山済生会総合病院 薬剤部)

0-5-2 アルコール依存症関連治療薬の処方調査と多職種研修会を通じて見えた課題

佐々木 典子 (三重大学医学部附属病院 医療安全管理部)

**0-5-3 精神科領域の臨床で実行可能な Modeling & Simulation
－血中薬物濃度の予測を例に－**

森田 和弥 (明生病院 薬局)

**0-5-4 有害事象データベースを用いたベンゾジアゼピン系作動薬のせん妄リスクシグナルへの併
用薬剤の影響**

祖川 倫太郎 (佐賀大学医学部附属病院 薬剤部)

0-5-5 LPS 投与による不安様症状およびミクログリア活性化に対する亜鉛の効果

田中 翔哉 (就実大学 薬学部 薬物治療学)

0-5-6 LAI に係る保険薬局との医薬連携に向けたアンケート調査

廣瀬 健一郎 (医療法人 桜桂会 犬山病院)

9月17日(日)

第1会場(創立五十周年記念館 1F 金光ホール)

8:00~8:45

モーニングセミナー

(共催:ヤンセンファーマ株式会社)

座長:山田 雅彦(医療法人社団更生会 草津病院 薬剤科)

① TRI 患者満足度調査から見えてくる LAI の価値

阪岡 沙耶香(株式会社ネクサス キララ薬局地御前店)

② LAI 治療促進のため薬剤師主導による多職種連携 LAI 導入プログラムについて

辛島 昌秀(茨城県立こころの医療センター)

9:20~10:20

教育講演2

座長:吉尾 隆(公益財団法人住吉偕成会 住吉病院/精神科薬物療法サポートセンター)

「抗 NMDA 受容体脳炎の臨床と病態」

高木 学(岡山大学学術研究院精神神経病態学)

10:50~11:50

受賞講演

座長:黒沢 雅広(昭和大学薬学部病院薬剤学講座 昭和大学附属烏山病院 薬局)

「鍋島学術奨励賞 受賞講演」

統合失調症における薬剤の適正使用に向けた取り組み

榊原 崇(社会医療法人聖泉会 聖十字病院)

「学術奨励賞(論文賞) 受賞講演」

アクチグラフを用いたベンゾジアゼピン系薬漸減による精神疾患患者の活動・睡眠に及ぼす影響に関する研究

植草 秀介(東邦大学 薬学部 医療薬学教育センター 臨床薬学研究室)

12:30~13:30

ランチョンセミナー4

(共催:吉富薬品株式会社)

座長:吉尾 隆(公益財団法人住吉偕成会 住吉病院/精神科薬物療法サポートセンター)

「「遅発性ジスキネジア(TD)」まとめ ~その診断から治療まで~」

森 康浩(愛知医科大学 精神科学講座)

14:00~15:00

教育講演3

座長:谷藤 弘淳(こだまホスピタル薬剤部)

「活躍の場を広げる精神科薬剤師への期待」

筒井 由佳(日本病院薬剤師会/社会医療法人近森会近森病院)

「目指せ『精神薬学会認定薬剤師』！」

- S5-1 精神医学・薬学領域における薬剤師の専門性の評価と認定が意味するもの**
梅田 賢太（一般財団法人創精会松山記念病院診療部薬剤課）
- S5-2 いかに『精神薬学会認定薬剤師』を取得するか！**
椎 崇（学校法人北里研究所 北里大学病院 薬剤部）
- S5-3 認定薬剤師合格対策！精神科症例報告のいろはとポイント**
出川 えりか（社会福祉法人シナプス 埼玉精神神経センター）
- S5-4 「認定試験」のポイントについて**
永井 努（昭和大学薬学部 病院薬剤学講座・昭和大学附属烏山病院 薬局）
- S5-5 日本病院薬剤師会 精神科薬物療法認定薬剤師・精神科専門薬剤師取得について**
木藤 弘子（医療法人 恵愛会 福間病院 薬剤科）

第2会場（創立五十周年記念館 2F 会議室）

「HAM-D（ハミルトンうつ病評価尺度）道場」

堀 輝（福岡大学医学部精神医学教室）

運営スタッフ：天正 雅美（社会医療法人北斗会 さわ病院 薬剤部）

「『ADHD診療における薬物療法の位置付けを再考する』
～小児から成人、各ライフステージに応じた治療支援～」

榎屋 二郎（東京医科大学 精神医学分野・東京医科大学病院 こどものこころ診療部門）

第3会場（一般教育棟 2F 講義室 A21）

10:40~12:10 シンポジウム3 (S3)

座長：有山 智博（日本赤十字社医療センター 薬剤部）

大向 香織（クオール株式会社北海道東北薬局事業本部東北第二事業部シニアリード）

「にも包括に向けた保険薬局の今後 ～トレーシングレポートを活用した地域連携～」

S3-1 トレーシングレポートを活用した処方医との連携

福田 和博（クオール株式会社 クオール大手薬局）

S3-2 トレーシングレポート、退院時薬剤情報提供書を活用した薬業連携と在宅医療における多職種連携について

栗原 正亮（こごみ薬局）

S3-3 病院薬剤師の地域移行支援業務

山田 雅彦（医療法人社団更生会草津病院薬剤課）

S3-4 当会地域医療連携推進委員会作成のトレーシングレポートについて

和田 智仁（社会医療法人居仁会 総合心療センターひなが 診療技術部薬剤課）

S3-5 トレーシングレポートを含めた、文書を用いた多職種連携の可能性

中田 裕介（合資会社中田薬店 ゆう薬局）

12:30~13:30 ランチョンセミナー6

（共催：大塚製薬株式会社）

座長：梅田 賢太（一般財団法人創精会松山記念病院）

「双極性障害薬物治療を効果的に行うために知っておきたいこと」

堀 輝（福岡大学医学部精神医学教室）

13:50~15:20 シンポジウム4 (S4)

座長：北村 佳久（就実大学 薬学部）

江角 悟（神戸学院大学 薬学部）

「精神科医療における IT 技術の応用と今後の展望」

S4-1 趣旨説明

北村 佳久（就実大学 薬学部 薬物治療学）

S4-2 薬学部におけるオンライン服薬指導実習における教育効果と課題

河野 奨（就実大学 薬学部）

- S4-3 精神科薬物療法の質向上に向けたオンラインコンサルテーションシステムの実践**
江角 悟（神戸学院大学薬学部）
- S4-4 分光分析を用いた一包化散薬鑑査支援システム「コナミル PLUS」の開発**
森山 圭（株式会社ウィズレイ）
- S4-5 精神科通院中の患者への薬局業務における ICT 活用の実際と展望**
肥後 昇平（肥後薬局日赤前店）

一般演題（ポスター発表）

■ポスター会場	一般教育棟 2F 講義室 C21・C 22
■セッション日時	演題番号奇数の方 9月17日(日) 9:00～9:30
	演題番号偶数の方 9月17日(日) 9:50～10:20

- P-1 アルコール使用障害患者における精神運動機能試験を用いた認知機能評価
鈴木 香帆（名城大学薬学部 病院薬学研究室）
- P-2 アルコール依存症入院治療における向精神薬の処方実態調査（パイロット調査）
宮浦 淳一（医療法人資生会 八事病院 薬剤課）
- P-3 外来統合失調症患者における paliperidone palmitate3 カ月製剤 (PP3M) の受け入れに関する意向調査
松本 早苗（地方独立行政法人 長野県立こころの医療センター駒ヶ根 薬剤部）
- P-4 持効性注射剤投与患者におけるグループホームでの多職種連携によって、DIEPSS 実施により、副作用軽減、患者の苦痛の軽減に至った 2 症例
成井 繁（グッドファーマシー株式会社 湘南あおぞら薬局藤沢店）
- P-5 双極性障害患者の薬物治療における顕在化しにくい副作用の実態とその原因に関する調査
森 康德（名城大学薬学部 病院薬学研究室）
- P-6 注意欠如・多動性障害（ADHD）治療薬が睡眠に及ぼす影響
植草 秀介（東邦大学薬学部臨床薬学研究室）
- P-7 外来統合失調症治療における Blonanserin 経皮吸収型製剤の処方調査
野島 梓（社会福祉法人シナプス 埼玉精神神経センター 薬剤部）
- P-8 当院におけるクロザピン血中濃度測定の実況について
畑尾 由佳（医療法人 資生会 八事病院）
- P-9 血中クロザピン濃度測定による投与量への介入
—COVID-19 感染時に好中球減少症をきたしたクロザピン投与中の統合失調症患者 2 症例—
阿部 裕子（明生病院 薬局）
- P-10 当院精神神経科病棟入院中の抗精神病薬内服患者における血栓塞栓症の発生状況に関する調査（第 1 報）
渡部 和幸（医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 薬剤部）
- P-11 統合失調症患者の便秘重症化と処方薬の関係（予備研究）
灘谷 聡昭（東京都立松沢病院）
- P-12 桶狭間病院藤田こころケアセンターにおける valbenazine の使用経験について
竹内 一平（桶狭間病院藤田こころケアセンター／名城大学薬学部 病院薬学研究室）

- P-13 保険薬局における精神科以外の患者の睡眠状況と睡眠薬に関する満足度調査**
久田 侑歩（名城大学薬学部 病院薬学研究室）
- P-14 ヒドロキシジン塩酸塩注射液と術後せん妄との関連性
～待機手術患者を対象とした後ろ向きコホート研究～**
上條 貢（藤沢市民病院）
- P-15 ベンゾジアゼピン受容体 (BZ) 作動薬服用中の患者におけるオレキシン受容体拮抗薬
(ORA) の追加・変更投与による睡眠状態への影響（前後比較研究）**
前原 雅樹（杉山薬局 小郡店）
- P-16 精神科における退院時情報提供書の取り組みと課題**
鈴木 昭雄（医療法人久盛会 秋田緑ヶ丘病院 薬剤部）
- P-17 精神科領域における調剤薬局の薬剤師による在宅訪問の実際**
上條 千恵子（ファーマライズ薬局 日永店）
- P-18 当院スーパー救急病棟入院患者におけるポリファーマシーの実態と薬学的介入内容の調査**
辛島 昌秀（茨城県立こころの医療センター）
- P-19 LPS 投与による全身炎症により脳内 5-HT_{2A} 受容体機能は亢進する**
植田 哲平（就実大学 薬学部 薬物治療学）
- P-20 薬学実務実習における精神科実習の実施**
近藤 浩樹（ファーマライズ薬局 日永店）
- P-21 皮膚疾患患者における抗ヒスタミン薬服用による精神運動機能試験を用いたインペアード・パフォーマンスへの影響**
大橋 幸輝（名城大学薬学部 病院薬学研究室）
- P-22 広島県精神科病院における服薬自己管理の現状調査**
山田 雅彦（医療法人社団更生会草津病院薬剤課）
- P-23 他院へ長期入院していた患者に対し自施設にて対症療法薬の減薬および副作用低減を試みた一例**
中島 理恵（国立病院機構小倉医療センター薬剤部）
- P-24 精神科病院である海辺の杜ホスピタルにおける病棟薬剤業務の医師・看護師による評価**
細木 加寿子（医療法人精華園 海辺の杜ホスピタル）